

投資事業評価調書(新規)

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 笠岡 良雄 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
------	-------------------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区 間	総事業費	約 4 . 9 億円 (うち用地補償 費 2 . 7 億円)
		(主)大沢西宮線 県単独事業	西宮市鷲林寺 1 丁目 L = 5 5 0 m		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
西宮市鷲林寺 1 丁目 ~ 鷲林寺町				H 1 4 年度	H 1 6 年度

事業目的	事業内容等
<p>西宮北有料道路(盤滝トンネル)南伸事業による甲寿橋交差点立体化に伴い、従来より渋滞していた本路線のピーク時間交通量の増加が予想されることから、鷲林寺交差点の改良を含む本事業区間の整備を行い、円滑かつ安全な交通を確保する。</p>	<p>現道拡幅 L = 5 5 0 m 鷲林寺交差点改良(右折レーン設置) バス停車帯設置：2 箇所 現況：2 車線 + 1.5 m 片側歩道 全幅 9.6m 計画：2 車線 + 3.0 m 両側歩道 全幅 14m 交通量(台/日)：現況 9,400、計画 11,600 混雑度：1.05</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 交通渋滞の解消 安全・安心 を確保するみち づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性化している鷲林寺交差点付近の渋滞悪化が見込まれるため対策が必要 交差点改良(右折レーン設置)、バス停留所の改築により渋滞解消を図る。 ・近接する県立西宮甲山高校及び苦楽園小中学校への通学路として歩道整備による安全確保を図る。また、南伸事業により整備される歩道を連続させることにより歩行者動線を確保する。
(2)有効性・効率性 有効性 代替性 効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和による走行時間短縮便益を得ることができる。 ・周辺の道路網及び地形的要因から沿道利用を重視した現道拡幅が最適である。 ・西宮北有料道路南伸事業が平成 15 年度末の完成を目途に進められていることから、地元機運が高まっている。 ・地元から渋滞解消等を強く望まれており、地元協力による効率的な事業執行が図られる。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部の植栽(並木植栽)を行うことにより環境対策を行う。 ・渋滞解消により周辺地域への排気ガスの排出量が削減される。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮北有料道路南伸事業区間と連続して道路整備する必要がある、平成 14 年度着手が必要である。

評価 の 結 果	着手妥当	左 の 理 由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------------------	------	------------------	---------------------